

令和3年度

柿原小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 論理的思考力・表現力の育成と言語活動の充実
- 主体性と継続力・学び合う力を育む学習活動(授業)の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 筒井 美帆	委員 校長:松本 珠実 教頭:赤澤 泰志 教務主任:原田 理恵 研修主任:佐光 祥子 特別支援教育コーディネーター:井内 早苗 原田 理恵
------------------	--

校長

松本 珠実

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読みや整数の四則計算などの基礎的・基本的な知識・技能が身についている児童が多い。 ●漢字や九九などの基礎的・基本的な知識・技能の定着の差が大きいのが課題である。	・整数の四則計算を確実に行うことができる。 ・語彙を増やし、正確に文章を読むことができる。	・3年生以上の学年で、一人一冊(個人用)の辞書を持ち、常に活用できるようにする。 ・モジュールを活用し、認知機能トレーニングや読書活動の充実を図る。 ・学力の定着を図るために、基礎的・基本的なプリントを繰り返し活用する。	基礎的・基本的なプリントやドリル等を繰り返し活用することはできているが、学力の定着にまだまだ個人差が見られる。今後は、個々の能力に応じたプリントを用意するなどの工夫をしていく。	・モジュールの時間や授業で、漢字や計算の基本的なプリント学習や小テストを継続的に実施することにより、基礎学力は定着しつつある。 ・わからない漢字や言葉は、自ら辞書で調べる習慣を付けることができた。	ヒントカードや発展的なプリントを用意するなど個々の能力に応じた支援を行う。また、文章を読む力を身に付けるために、モジュール等を活用して読解プリントに取り組む時間を確保する。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話形やホワイトボードをもとに、自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いたりすることができる。 ●資料や他者の意見から状況を想像したり、新しい考えを創造したりすることに課題がある。	・話し合い活動を通して思考を深め、問題解決に取り組むことができる。 ・客観的な根拠や理由を用いて、自分の考えを説明したり、文章に書き表したりすることができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・話すとき、聞くときの観点を明確にし、提示する。 ・児童一人一人が自己の考えや学びを深めるためのICTの効果的な活用を図る。	週末日記の実施や発表の機会の増加により、少しずつ自分の意見を書いたり言ったりすることができつつある。今後はタブレット等を用いてさらに多様な方法で意見を伝えたり交流させたりしていく。	・友達と互いに意見を交流したり、根拠をもとに説明したりするペア学習を積極的に取り入れることができた。 ・作文読本を活用し、多様な表現方法を自分の文章に生かすことができた。 ・ICTの活用に関しては、十分ではなかった。	自分の考えを順序立ててわかりやすく伝えることができるように話形のモデルを作成する。また、タブレット端末を授業で有効活用できるように職員間で研修を深め、児童に多様な表現の場を設定できるようにする。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に真面目に向き合い、課題にも一生懸命取り組むことができる。 ●家庭学習や読書、苦手な学習内容の克服等に、計画的、継続的に取り組むことに課題がある。	・家庭の事情や発達段階に応じた家庭学習や読書の習慣を身に付けることができる。 ・苦手な学習にも最後まで粘り強く取り組むことができる。	・学習のめあてや振り返りなど、自分の学びがわかるノート指導を徹底する。 ・学校・学級便りや家庭学習の手引きで家庭学習の習慣化を図る。 ・教材に関連した本の紹介や週末読書の実施を積極的に行う。	週末読書の実施により、読書に励む児童が増えてきている。今後は、学年に応じた家庭学習の目標時間を設定するなどして、自主学習にも取り組んでいけるように意欲付けを行っていく。	・保護者の協力を得て、家庭学習や学習の用意などを自分で意識して行うことができる児童が増えている。 ・図書委員会の取組や週末読書の実施により本好きの児童が増えている。	家庭学習に取り組んだ時間を記録し、定期的に振り返る機会を設ける。今後も週末読書を継続して実施し、学年便り等を通じて家庭読書に協力してもらえるよう保護者とも連携を密にしていく。

令和3年度 学力向上ロードマップ

